

令和2年度 第1回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時: 令和2年8月25日(火)

14時00分～15時30分

場所: 摂津市民図書館 3階大会議室

出席委員: 8名

欠席委員: 2名

事務局: 4名

- 案件 1. モニタリング評価結果報告(令和元年度第4四半期)及び令和元年度総合
2. 令和2年度第1四半期(4月～6月)事業報告
3. 指定管理者公募
4. その他

(1)モニタリング評価結果報告(令和元年度第4四半期及び令和元年度総合)について

(事務局) — モニタリング評価結果(令和元年度第4四半期及び令和元年度総合)について説明 —

モニタリング評価自由記載欄の意見について

(事務局) ○「本の福袋のアンケート結果を見て、年2回ほどしたらという意見がありました。もう1回増やすなら、1つの案として、秋の読書週間の時はどうでしょうか」ということについて。

⇒年2回の開催については検討したい。秋では正月と近いので、離れた時期を検討したい。

(事務局) ○「他の施設(保育所、幼稚園)と共同で親子に対して読み聞かせを行う、ブックスタートなどのよい企画は今後も継続されるようお願いしています」について。

⇒子ども読書活動推進計画がこの4月から新しくなっており、他施設との連携についても触れている。今後もコロナの影響でなかなか外に出ることが難しいが連携を取り、協働していきたい。

(事務局) ○「コロナ禍での市民の読書環境をどう維持できるか、また、今までとは違う方法での業務にはどのようなものがあるか。新しい図書館の形に向かうチャンスとなりますよう、よろしく願いいたします」について。

⇒電子図書館について、最近コロナ禍の中でかなり見直されている。図書館に来ることができない状況の中でどうやったら本に触れてもらう機会を確保できるのかということを検討していく。

(事務局) ○「市民図書館と鳥飼図書センターにチェックに行った時も感染対策を

きちんと行っていました。市民図書館では定期的にアナウンスにて注意喚起をしていました」について。

⇒アナウンスではマスクの着用と、長時間の利用を控えるよう注意喚起をしている。また定期的な換気を行い、市民図書館レファレンス室と鳥飼図書館センターの学習室にアクリルシールドを設置した。清掃のスタッフには手が触れる箇所の消毒を依頼している。

(事務局) ○「鳥飼図書館センターで、迷惑行為をしていた来館者へ口頭注意をされていた」について。

⇒鳥飼図書館センターの1階(児童図書コーナー)で小さい子が声を出している時は、大声を立てたり、走り回ったりしている場合を除き、フロアと館内の利用者の状況に応じた注意を心掛けている。

(2) 令和2年度第1四半期事業報告について

(事務局) 2月末からコロナによる図書館事業へ直接影響が出始め、3月初めに臨時休館となった。しばらくの間は予約の受付、予約本の貸出のみの業務を続けたが、4月の緊急事態宣言の発表で完全休館となった。完全休館の間は宣言の解除時に本が渡せるよう予約の受付業務だけ行った。5月中旬に予約本の貸出を再開したが、その時点で千数百冊の本が配送待ちになっていた。6月初めに館への入館が可能になったが、長時間滞在を控えてもらうため座席の利用はできなかった。座席の利用、一部イベントの再開は7月に入ってからになった。

図書館以外での本の受取では、コミュニティプラザでの受け取り希望が殺到していた。

来館ができない状況でも、読書に触れることができるように、市ホームページに青空文庫やその他のリンク集を作成した。

おはなし会の再開は8月からではあるが、イベントや使用施設の人数制限を考え、以前と同じようには開催できていない。

(委員) この案件について何かご意見はないか。

(特に質問等なし)

(3) 指定管理者公募

(事務局) 令和2年度末で現在の指定管理期間が終了するにあたり、次年度以降の指定管理や事業について委員の皆さまからもご意見をいただきたい。

(委員) 指定管理者が実施する事業のビブリオバトルについて、これからも実施をしてもらいたい。また、子ども向けに特別に漫画を対象にしたものを実施してはどうか。

(事務局) 今年については、人がたくさん集まるイベントは開催が難しいと考えている。

(委員) ビブリオバトルの人集めが難しいということも聞いているが、大学にもご協力いただいてもいいのでは。

(事務局) 大阪府のビブリオバトルがすでに中止を決定していることも踏まえると、今年

は大学に協力を申し出ることは難しいと思う。

(委 員) 大学の方でも学生が外に出る活動をやめている。漫画を対象としたビブリオバトルの開催は来年以降実施できるといいと思う。

(委 員) 図書を対象としたビブリオバトルへのとっかかりとして、漫画版をぜひ開催して欲しい。

(4)その他

(事務局) コロナ禍での図書館サービスを考える中で電子図書館についての検討を開始している。何かご意見はないか。

(委 員) 説明で複数の利用者が1冊の電子図書にアクセスするには、費用がかかるとあったが、利便性を考えるとそういう図書を増やしてほしい。

(委 員) 学校からの利用についても、今後可能性のある第三波等に備え積極的に取り組みを進めてもらいたい。

(委 員) 併せて、ネットからの利用登録もできるようにすれば、利用者の増加が見込めると思う。

《その他のご意見は》

(委 員) 図書館の独立したホームページを作成するのは難しいのか。

(事務局) 構想としてはあるが、現時点ではできるかどうかの検討中である。